

公立・公的病院の具体的対応方針の再検証に係る
対応について【西濃圏域】

1 具体的対応方針の再検証が必要とされた公立・公的病院について

◆概要

- ・厚生労働省における分析の結果、一定の基準に合致した公立・公的医療機関等の具体的対応方針が、真に地域医療構想の実現に沿ったものとなっているか再検討を行うこととなった。（令和2年1月17日付けで厚生労働省から都道府県に対して再検証要請通知）
- ・県内では、以下の9病院が該当。

	病院名	二次医療圏	所在地	該当項目
1	岐北厚生病院	岐阜	山田市	隣接
2	羽島市民病院	岐阜	羽島市	隣接
3	西美濃厚生病院	西濃	養老町	隣接
4	国保白鳥病院	中濃	郡上市	実績
5	坂下病院	東濃	中津川市	実績
6	多治見市民病院	東濃	多治見市	隣接
7	東濃厚生病院	東濃	瑞浪市	隣接
8	市立恵那病院	東濃	恵那市	隣接
9	飛騨市民病院	飛騨	飛騨市	実績

【該当項目】

実績：診療実績※1が特に少ない。

※1 がん、心疾患、脳卒中、救急、小児、周産期、災害、へき地、研修派遣機能の9領域全ての診療実績

隣接：構想区域内に、一定数以上の診療実績※2を有する医療機関が2つ以上あり、かつ、お互いの所在地が近接※3している。

※2 がん、心疾患、脳卒中、救急、小児、周産期の6領域全ての診療実績

※3 自動車での移動時間が20分以内の距離

【再編統合】

「再編統合」には、ダウンサイジング、機能の分化・連携、集約化、機能転換・連携等も含まれる。

2 国の再検証要請への対応について

【「類似かつ近接」病院】

①～④について医療機関での検討を踏まえ、その結果を各圏域地域医療構想等調整会議で協議。

- ①2025年を見据えた自医療機関の役割の整理
- ②分析対象領域（6領域※1）ごとの医療機能の方向性（機能縮小等）
- ③4機能別の病床の変動
- ④圏域全体の、6領域ごとの医療機関の役割分担の方向性等2025年の医療提供体制



西美濃厚生病院の①～③の検証結果は3ページのとおり。

再検証対象病院以外の公立・公的病院における上記①及び③について、参考資料1-1にて整理。

④について、参考資料1-2にて整理。

※1 6領域：がん、心疾患、脳卒中、救急、小児、周産期

※2 9領域：がん、心疾患、脳卒中、救急、小児、周産期、災害、へき地、研修派遣機能

【診療実績が特に少ない病院】

①～③について医療機関での検討を踏まえ、その結果を各圏域地域医療構想等調整会議で協議。

- ①2025年を見据えた自医療機関の役割の整理
- ②分析対象領域（9領域※2）ごとの医療機能の方向性（機能縮小等）
- ③4機能別の病床の変動



西濃圏域 該当なし

3-1 西美濃厚生病院における検証結果について

①2025年を見据えた自医療機関の役割の整理

- ・ 当院と揖斐濃厚生病院の病床再編を行い、400床の新病院を大野町に建築（令和5年10月開院）する予定。
※病床再編の第1段階として、令和2年4月から当院の慢性期病床の一部（56床）を介護医療院へ転換。
- ・ 新病院開設後は、医療機能を縮小し、回復期機能及び慢性期機能を担う。また、介護医療院を併設する。

②分析対象領域（6領域）ごとの医療機能の方向性（機能縮小等）

- ・ 厚労省分析領域における現状及び今後の見込みは以下のとおり。

領域	現 状	今後の見込み、予定
がん	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消化器・泌尿器は常勤医により手術、専門的な治療を実施しており、ほぼ自院にて対応。 ・ 常勤医不在の診療科（乳腺・放射線）については基幹病院並びに近隣連携機関等へ紹介。 ・ 呼吸器内科専門医が在籍し、紹介を含め診療を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大野町に建築する新病院開設までの間は、現状の体制維持に努める。 ・ 新病院開設後については、地理的要因により必要な診療機能を維持しながら、回復期・慢性期を中心とした医療を提供する。
心筋梗塞等の 心血管疾患	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常勤医師により外来診療を実施。 ・ 超急性期の治療を要する場合は、基幹病院等へ搬送。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同上
脳卒中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脳神経外科の常勤医が1名在籍し、大学病院から非常勤医の派遣を受けて外来診療を実施。 ・ 超急性期の治療を要する場合は、基幹病院等へ搬送。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同上
救急医療	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域からの救急受入要請に対応。 ・ 大腿骨骨折等の対応は、整形外科の常勤医が在籍し、手術・専門的な治療を含めほぼ自院で対応。 ・ 心臓疾患・脳疾患等、超急性期の治療を要する場合は、基幹病院等へ搬送。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同上
小児医療	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小児科の常勤医が1名在籍し、大学病院から非常勤医の派遣を受けて外来診療や軽度な疾患による入院に対応。 ・ 超急性期の治療を要する場合は、基幹病院等へ搬送。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同上
周産期医療	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産科（周産期医療）は対応していない。 ・ 婦人科は非常勤医により外来診療を実施。 ・ 超急性期の対応を要する場合は、基幹病院等へ搬送。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同上

3-2 西美濃厚生病院における検証結果について

③ 4 機能別の病床の変動

【令和2年3月 → 再編後】

病院名	令和2年3月時点 【A】					病床再編後 【B】				
	計	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	計	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期
揖斐厚生病院	281	15	159	55	52	0	0	0	0	0
西美濃厚生病院	315	0	187	63	65	140	0	0	105	35
(仮称)西濃厚生病院						400	0	293	107	0
計	596	15	346	118	117	540	0	293	212	35
差 引【B】－【A】						▲56	▲15	▲53	94	▲82